

平成30年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

南城市		事業名	計画期間	事業概要		H30成果目標(指標)	備考	
事業番号	H30事業内容			H30活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
バ細								
1	1	スポーツツーリズム推進事業	H24 ～ H31	市陸上競技場における天然芝の適正管理を行い、プロサッカーチームのキャンプ受入に適した環境整備を行うことで、プロ・サッカーチームのキャンプ誘致に繋げる。	良質な芝生を維持する為の適正管理。	プロ・サッカーチームのキャンプ誘致件数:3チーム	【今後のスケジュール】 継続的に芝生の適正管理を行うことで、プロ・サッカーキャンプ誘致に繋げ、観光振興を図る。	【H30成果目標設定の考え方】 キャンプ実施期間(1-2月)に受入可能な最大チーム数を設定した。
1	2	尚巴志活用マスタープラン実施事業	H26 ～ H31	平成25年度に策定した「尚巴志活用マスタープラン」を実施する事業であり、尚巴志関連の文化資源を活用し、地域の歴史文化を学ぶ機会を創出することで、市の歴史文化に関する理解を深める。	1 尚巴志の普及・啓発・情報発信 ・「紙芝居学校アウトリーチ」 市内小学校9校(各1回) ・「文化講演会」1回 2 地域興しの人材育成 ・「尚巴志塾事業」講座6回 3 エコミュージアムの創造 ・「文化遺産巡りコンサート」 市内文化遺産所在地区4箇所(各1回) ・「地域孫会議事業」 上記開催地区4箇所(各1回) ・「琉歌募集事業」	各事業実施後、参加者に対するアンケートを実施し、市の歴史文化への理解が深まったか(80%以上)を含め、本事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 事業完了時、「尚巴志」の認知度が高まり、獲得した知識をそれぞれが情報発信していくことで、南城市の知名度向上に繋げ、観光客増を図る。	【H30成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が市の歴史文化への理解が深まったと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
1	3	南城市産商品販売力強化事業	H27 ～ H32	市産商品の売上増加を図るため、市内外でのイベントで販売促進活動を行う。	・市内イベント等での販売活動2回 ・県内主要商業施設での販売活動1回	商品の売上額:717,064円以上	【今後のスケジュール】 市内外での販路拡大と売上強化を図り、強化の度合いで販路先拡大を目指す。	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
1	4	プロ・サッカーキャンプ等受入施設整備事業	H27 ～ H30	陸上競技場及び体育館施設の機能強化を行うことで、プロ・サッカーチームのキャンプ誘致に繋げる。今年度は、サッカーキャンプ等で活用する備品整備を行う。	トレーニング器具等の導入	プロ・サッカーチームのキャンプ誘致件数:3チーム	【今後のスケジュール】 プロ・サッカーキャンプの受入体制を充実させ、本市の滞在型観光を推進する。	【H30成果目標設定の考え方】 キャンプ実施期間(1-2月)に受入可能な最大チーム数を設定した。

H30活動目標(指標):平成30年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。

H30成果目標(指標):平成30年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成30年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

南城市		事業名	計画期間	事業概要		H30成果目標(指標)	備考	
事業番号	H30事業内容			H30活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
バ細								
1	5	海外交流推進事業	H28 ～ H31	<p>アジアからの外国人観光客の増加を図るため、アジアから学生インターンシップを受け入れ、海外からの視点で南城市の観光における魅力や課題を探り、地域の観光関連事業者へ共有を図るとともに、外国人観光客に関するシーズやニーズを調査し、南城市の観光振興に繋げていく。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アジアからのインターンシップ受け入れの実施</li> <li>・アジアに向けた観光PR活動の実施</li> <li>・市内観光事業者へのセミナー開催(成果共有)</li> </ul>	外国人観光客数:40,000人以上	<p>【今後のスケジュール】 各関係セクターと連携しながら、インターンシップカリキュラムをブラッシュアップし、積極的かつ効果的に香港市場とのネットワークを形成する。</p>	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
1	6	南城型エコミュージアム実施計画策定事業	H28 ～ H31	<p>観光誘客を図るため、自然・歴史・文化・人など地域の魅力ある資源を活用し、新たな観光資源を創出するため、市内27地域のエコミュージアム計画を策定する。 今年度は、南城型エコミュージアム実施計画(各論その2)を策定する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域説明会実施箇所:9地域</li> <li>・企画提案参加学生チーム:9チーム</li> </ul>	南城型エコミュージアム実施計画(各論その2)策定(9地域)	<p>【今後の成果目標】 地域ごとのエコミュージアム計画を基に、観光誘客を目的とした事業の実施に繋げる。</p> <p>【今後のスケジュール】 H30 実施計画(各論その2)策定(9地域) H31 実施計画(各論その3)策定(9地域)</p>	【今後の成果目標設定の考え方】 本事業において策定するエコミュージアム計画の中で観光誘客に係る指標を設定するため、当該計画で設定した指標を目指した観光誘客に繋がる事業を実施していくことを目的とする。
1	7	アジアユース人材育成・ネットワーク形成事業	H29 ～ H31	<p>アジア諸国と、3市村(南城市、伊江村、渡嘉敷村)の中・高校生が、豊かな自然や歴史、文化などの地域資源に恵まれた環境の沖縄で共に生活しながら地域の課題に取り組み、体験交流を深める中で、国や文化を越えた友情を育み、多種多様な文化や社会、考え方があることを直に学ぶ機会を設けることで、国際的な広い視野を持たせる。</p>	研修プログラムの実施(約2週間)	生徒の国際的な視野がより広まったと感じたか(80%以上)を含め、保護者へのアンケートにより本事業のあり方について検証する。	<p>【今後のスケジュール】 本事業で構築された人的ネットワークの輪を継続して活かせるよう事業展開する。</p>	【H30成果目標設定の考え方】 生徒の保護者のうち大多数が国際的な視野が広まったと感じられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。

H30活動目標(指標):平成30年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。

H30成果目標(指標):平成30年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成30年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

南城市		事業名	計画期間	事業概要		H30成果目標(指標)	備考	
事業番号	H30事業内容			H30活動目標(指標)	H30成果目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
パ細								
1	8	観光振興将来拠点整備事業	H25 ～ H31	大規模な公共駐車場を整備することで、各種イベント時の駐車場不足等の課題を解消し、利便性を確保する。	・造成工事 ・面整備 ・管理施設工事 ・擁壁工事 ・用地購入	公共駐車場の整備	【H31成果目標】 駐車場利用者の利便性が確保された(80%以上)を含め、アンケート調査により、当該駐車場のあり方について検証する。  【今後のスケジュール】 H30 造成工事、面整備、管理施設工事、擁壁工事、用地購入等 H31 造成工事、面整備、管理施設工事、擁壁工事等	【H31成果目標設定の考え方】 一部供用開始後、駐車場利用者のうち大多数が利便性が確保されたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
1	9	観光施設危機管理対策事業	H28 ～ H32	本市を訪れた観光客が災害時等、安全に避難することができる環境を整備し、安心・安全な観光地を形成する。 今年度は、市内の観光関連施設にAEDを設置することで、緊急時における利用者の即時応急体制を確保する。	観光関連施設へのAED設置：10カ所	AEDを整備した施設において、救急救命(AED)講習を実施する中でアンケートを実施し、その結果「AEDを使用した適切な応急対応が理解できた」と回答した割合(80%以上)を含め、本事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 H31 避難誘導サイン設置 H32 避難誘導サイン設置	【H30成果目標設定の考え方】 整備を行った施設において、救急救命(AED)講習会参加者のうち大多数が適切な応急処置が理解できたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
1	10	南城市デジタルアーカイブ実施事業	H30 ～ H33	歴史の継承及び観光誘客を図るため、市内に点在する歴史・文化財・伝統芸能といった文化遺産のデジタルアーカイブ化を実施し、情報公開・発信を行う。 今年度は、実施計画書を策定する。	基礎調査の実施 ・市内文化遺産の精査 ・デジタルコンテンツのニーズの調査 ・先進事例の調査 ・検討委員会の開催	デジタルアーカイブ実施計画書の策定	【H32成果目標】 デジタルアーカイブ化を行ったコンテンツへのアクセス数:5,000件  【今後のスケジュール】 H30 実施計画書 H31 計画書に基づきデジタル化・公開・活用 H32 計画書に基づきデジタル化・公開・活用	【H32成果目標設定の考え方】 類似事業の実績を参考に設定した。

H30活動目標(指標)：平成30年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

H30成果目標(指標)：平成30年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成30年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

南城市		事業名	計画期間	事業概要		H30成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H30活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
2	1	平和学習受入体制強化事業	H25 ～ H32	糸数アブチラガマは、経年による崩落や周辺環境の変化による壕への影響が懸念されるため、安全・安心して見学・体験ができるよう、保全対策を実施することで、平和学習の振興及び観光誘客を図る。 今年度は、ガマ内の保全対策設計を行う。	保全対策設計の実施	保全対策設計の完了	【H33成果目標】 年間来場者数：112,000人  【今後のスケジュール】 H30 保全対策設計 H31 保全対策工事 H32 保全対策工事	【H33成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
3	1	優良繁殖牛導入支援事業	H26 ～ H33	農家の経営の安定化に向けて、農家に対して優良繁殖雌牛を貸し付けるものに対し支援を行う。	優良母牛導入支援：50頭	導入した優良母牛から産まれる子牛とそうでない子牛との価格差の割合：104%以上	【今後のスケジュール】 H30 導入支援：50頭 H31 導入支援：50頭 H32 導入支援：50頭 H33 導入支援：50頭	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
3	2	優良乳用牛リース支援事業	H27 ～ H31	乳用牛の改良強化を図るため、農家に対して優良乳用牛を貸し付けるものに対し支援を行う。	優良乳用牛導入支援：50頭	・生産乳量の増加：7,917kg以上(年間) ・乳質(脂肪率)の向上：3.91%以上	【今後のスケジュール】 H30 導入支援：50頭 H31 導入支援：50頭	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
4	1	低炭素なまちづくり推進事業	H28 ～ H33	防犯灯及び公共施設等の照明器具を省エネ型のLED照明に切り替え、温室効果ガスの排出削減を図る。	防犯灯及び公共施設等の照明器具をLED照明へ切り替え：約580本	防犯灯及び公共施設等の照明が排出する温室効果ガス(Co2)削減：約134,000kg	【今後のスケジュール】 年次的に自治会の防犯灯及び公共施設等の照明器具をLED照明に切り替え、温室効果ガス(Co2)削減に繋げる。	【H30成果目標設定の考え方】 既存照明と同等の照度を持つLED照明へ切り替えた場合を勘案して設定した。

H30活動目標(指標)：平成30年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

H30成果目標(指標)：平成30年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成30年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

南城市		事業名	計画期間	事業概要		H30成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H30活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
5	1	学習支援員配置事業	H25～H33	児童生徒の学力に応じた個々の学習指導を行うため、学習支援員を配置し、学力の向上を図る。	・市立8小学校へ学習支援員8名配置 ・市立4中学校へ学習支援員4名配置	沖縄県学力到達度調査における平均正答率の差を以下のとおりとする。  ・小学校:県平均以上 ・中学校:+0.4ポイント以上	【今後のスケジュール】 継続して学習支援員を配置し、児童生徒の学力に応じた個々の学習指導を行うことで、学力向上に繋げる。	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
5	2	特別支援教育支援員配置事業	H25～H33	特別な支援を要する園児・児童・生徒に対応した支援を行うため、特別支援教育支援員を配置し、学校生活や学習上の困難の改善を図る。	・5幼稚園:特別支援教育支援員12名配置 ・8小学校:特別支援教育支援員38名配置 ・4中学校:特別支援教育支援員4名配置	特別支援教育支援員の対応への満足度(80%以上)を含め、保護者へのアンケートにより本事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 継続して特別支援教育支援員を配置し、特別な支援を要する園児・児童・生徒に対応した支援を行うことで、学校生活や学習上の困難の改善を図る。	【H30成果目標設定の考え方】 保護者のうち大多数が支援員の対応へ満足したと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
5	3	小・中学校電子黒板等整備事業	H28～H30	市内小学校に電子黒板の整備を行い、ICT機器を活用した分かりやすい授業を展開することにより、学校教育の質の確保を図る。	8小学校(百名、玉城、船越、知念、佐敷、馬天、大里北、大里南)に電子黒板を整備する(1年～3年普通教室・特別支援教室)	児童生徒にアンケートを実施し、ICT機器を活用した授業が分かりやすかったと答えた割合(80%以上)を含め、本事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 ICT教育へ対応した環境整備を行い、効果的に活用した授業実践など利活用の向上を図る。	【H30成果目標設定の考え方】 児童生徒のうち大多数がICT機器を活用した授業が分かりやすかったと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
6	1	なんじょう歴史文化保存継承事業	H24～H33	地域の文化財や伝統行事、沖縄戦に関することなど、本市の歴史・文化について、整理・保存及び活用することで、歴史・文化の継承を図る。	・『資料集 戦争』:会議(4回)、原稿執筆 ・『民俗』:会議(2回)、検討会議(3回)、調査・資料収集(100回)	・『資料集 戦争』原稿執筆の完了 ・『民俗』実地調査による資料収集と整理	【H31成果目標】 本事業で整理した書物を活用した学習会への参加人数:30人以上  【今後のスケジュール】 H30 「戦争」、「民俗」調査 H31 「戦争」刊行、「民俗」調査 H32 「民俗」調査 H33 「民俗」調査	【H31成果目標設定の考え方】 類似の学習会の実績を勘案して設定した。

H30活動目標(指標):平成30年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

H30成果目標(指標):平成30年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。